

【様式 4】

公立大学法人沖縄県立芸術大学
令和 3 年度業務実績評価書

令和 4 年 9 月
沖縄県公立大学法人沖縄県立芸術大学評価委員会

I 全体評価

1 全体評価の総評

令和3年度は、中期目標期間（令和3年～令和8年）の1年目であり、中期目標達成に向け、中期計画に基づいた年度計画を順調に実施しており、着実な業務の進捗状況にある。

2 中期目標の達成に向け、評価できる点（優れた点、特色ある点）

学内公募型の教育研究支援資金の活用や、教員の専攻の枠にとらわれない社会的意義のあるプロジェクトを検討するなど、教員の研究能力、研究水準の維持向上に取り組むとともに、外部研究資金の採択又は審査を務めた経験を有する教員が講師となり、若手教員等向け研修会を開催するなど、外部研究資金の獲得に向けた取組を強化しており、数値目標を上回る成果を出している。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、オンラインを活用した進学相談会や入試説明会を行ったほか、ホームページ、SNSを活用し、演奏会、学生の受賞情報、教員の活動、研究成果、卒業生の活躍など幅広い内容について積極的に情報発信を行っており、学部、大学院志願者の維持・確保や大学のブランド力向上に資する取組を効果的に行った点が評価できる。

3 中期目標の達成に向けた課題（更なる充実が期待される点、改善すべき点）

4 中期目標の達成に向けた法人への要望

令和3年度は、公立大学法人へ移行後初年度であり、法人運営の基盤を整え、中期目標の達成に向けた取組をスタートさせた重要な1年間であったと総括される。

法人運営に関する目標の推進にあたっては、大学の特性に合った最適な自己点検評価（PDCA）サイクルなどを確立し、教育研究及び大学運営の改善を継続できる仕組みづくりを行ってほしい。

教育研究の質の向上に関する目標の推進にあたっては、流通企業等との連携によるマーケットリサーチについて、新型コロナウイルス感染症の影響により学外との連携が困難な状況もあったが、学生のキャリア教育や、より実践的な研究活動を展開する上で重要な取組であり、オンラインツールの活用など、今後も実施に向けた更なる取組を進めていただくことを期待する。

II 項目別評価

II 項目別評価

1 業務実績の検証

項目別評価を実施するに当たって、法人から提出された業務実績等報告書を基に検証を行った。

検証に当たっては、年度計画及び中期計画に記載されている各項目の業務の実績について、中期計画の進捗・達成状況及び成果・効果を確認するとともに、法人の自己評価及び計画設定の妥当性を含め総合的に行った。

検証は、法人からのヒアリングにより実施した。

2 業務実績の評価

業務実績等報告書の各項目の検証及び特記事項等を基に、業務の進捗・達成状況及び成果・効果を小項目ごとに1～5の5段階で評価し、中項目ごとにまとめた。

評定	評語	説明
1	年度計画を大幅に上回って実施している。	顕著な実績又は特に優れた成果が認められるもの
2	年度計画を上回って実施している。	年度計画を上回る取組、実績又は成果を挙げたもの、あるいは年度計画を順調に実施し、かつその取組に注目すべき点（※）が認められるもの
3	年度計画を順調に実施している。	達成度が概ね100%程度と認められるもの
4	年度計画を十分に実施できていない。	年度計画を計画通り実施できていないもの 実績・成果が年度計画を下回っているもの
5	業務の大幅な見直し、改善が必要である。	評価委員会が特に認める場合

※中期目標を達成するため、中期計画を前倒しして実施するなど、戦略性が高く意欲的な年度計画を積極的に実施するなどの、その取組に注目すべき内容が認められるもの、あるいは社会情勢の変化等の外的要因により達成がより困難となった年度計画について達成したもの等

3 業務実績等報告書の各項目ごとの評価

《中期計画》

第1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

1 教育に関する目標を達成するための措置	項目数	自己評価 S 個数	自己評価 A 個数	自己評価 B 個数	自己評価 C 個数	自己評価 D 個数	評定
(1) 教育の内容に関する目標を達成するための措置	8	1		7			3
(2) 教育の成果に関する目標を達成するための措置	2		1		1		3
(3) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	4			4			3
(4) 学生への支援に関する目標を達成するための措置	6			6			3

◆数値目標 ※上記評価項目に含む	達成／進捗状況
(1) 教育の内容に関する目標を達成するための措置 【数値目標①】大学の志願倍率の維持向上 2.3倍/毎年度 【数値目標②】大学院の志願倍率の維持向上 1.5倍/毎年度	2.4倍（達成率104.3%） 2.3倍（達成率153.3%）
(2) 教育の成果に関する目標を達成するための措置 【数値目標③】学部卒業生の輩出 96人/毎年度 【数値目標④】大学院修了生の輩出 35人/毎年度	108人（達成率112.5%） 30人（達成率85.7%）
(3) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置 【数値目標⑤】FD・SD研修会の参加率向上 最終年度 100% R3年度 72.5%	72.75%（進捗率72.75%） （達成率100.3%）
【数値目標⑥】就職希望者の就職率 学部卒業生 最終年度 77.3% R3年度 72.3% 大学院修了生 最終年度 83.4% R3年度 78.4%	学部卒業生 73.2%（進捗率94.7%） （達成率101.2%） 大学院修了生 80.0%（進捗率96.0%） （達成率102.0%）

【評定説明】

(1) 優れた点・特色ある点

(2) 更なる充実が期待される点

(3) 改善すべき点

(4) 法人の自己評価と異なる点とその理由（異なる場合のみ記載）
なし

《中期計画》

第1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

2 研究に関する目標を達成するための措置	項目数	自己評価 S 個数	自己評価 A 個数	自己評価 B 個数	自己評価 C 個数	自己評価 D 個数	評価
(1) 研究水準及び研究成果に関する目標を達成するための措置	3	1		2			2
(2) 研究の実施体制等に関する目標を達成するための措置	6			5	1		3

◆数値目標 ※上記評価項目に含む	達成／進捗状況
(1) 研究水準及び研究成果に関する目標を達成するための措置 【数値目標⑦】外部研究資金の導入 外部研究資金の応募率 最終年度 19.2% R3年度 14.2% 外部研究資金の導入件数 12件/毎年度	応募率 19.2% (進捗率100.0%) (達成率135.2%) 導入件数 22件 (達成率183.3%)

【評価説明】

(1) 優れた点・特色ある点

○学内公募型の教育研究支援資金の活用や、教員の専攻の枠にとらわれない社会的意義のあるプロジェクトを検討するなど、教員の研究能力、研究水準の維持向上に努めており、外部研究資金の導入件数は目標を大きく上回る成果を出している。

(2) 更なる充実が期待される点

(3) 改善すべき点

(4) 法人の自己評価と異なる点とその理由（異なる場合のみ記載）
なし

《中期計画》

第1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

3 社会貢献等に関する目標を達成するための措置	項目数	自己評価 S 個数	自己評価 A 個数	自己評価 B 個数	自己評価 C 個数	自己評価 D 個数	評定
(1) 社会貢献に関する目標を達成するための措置	4			4			3
(2) 国際交流等に関する目標を達成するための措置	1			1			3

◆数値目標 ※上記評価項目に含む	達成／進捗状況
(1) 社会貢献に関する目標を達成するための措置 【数値目標⑧】公開講座、公開授業、移動大学等開催数 最終年度 38件/年 R3年度 35件/年 【数値目標⑨】展覧会、演奏会、定期公演等開催数 63件/毎年度 【数値目標⑩】自治体、地域、企業等との連携事業数 38件/毎年度	公開講座、公開授業、移動大学等開催数 26件（進捗率68.4%） （達成率74.3%） 展覧会、演奏会、定期公演等開催数 78件（達成率123.8%） 自治体、地域、企業等との連携事業数 39件（達成率102.6%）

【評定説明】

(1) 優れた点・特色ある点

(2) 更なる充実が期待される点

(3) 改善すべき点

(4) 法人の自己評価と異なる点とその理由（異なる場合のみ記載）
なし

《中期計画》

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

	項目数	自己評価 S 個数	自己評価 A 個数	自己評価 B 個数	自己評価 C 個数	自己評価 D 個数	評定
1 運営体制の改善に関する目標を達成するための措置 (1) 学長となる理事長を中心とする運営体制の構築	1			1			3
1 運営体制の改善に関する目標を達成するための措置 (2) 戦略的な予算等の配分	1			1			3
2 教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置	1			1			3
3 人事の適正化に関する目標を達成するための措置	2			2			3
4 事務等の効率化及び合理化に関する目標を達成するための措置	2			2			3

【評定説明】

(1) 優れた点・特色ある点

(2) 更なる充実が期待される点

(3) 改善すべき点

(4) 法人の自己評価と異なる点とその理由（異なる場合のみ記載）

なし

《中期計画》

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

	項目数	自己評価 S 個数	自己評価 A 個数	自己評価 B 個数	自己評価 C 個数	自己評価 D 個数	評定
1 外部研究資金その他の進捗収入の増加に関する目標を達成するための措置	2	1		1			2
2 経費の効率化に関する目標を達成するための措置	1			1			3

◆数値目標 ※上記評価項目に含む	達成／進捗状況
1 外部研究資金その他の進捗収入の増加に関する目標を達成するための措置 【数値目標⑦】外部研究資金の導入 外部研究資金の応募率 最終年度 19.2% R3年度 14.2% 外部研究資金の導入件数 12件/毎年度 再掲（第1-2(1)【数値目標⑦】）	外部研究資金の応募率 19.2% （進捗率100.0%） （達成率135.2%） 外部研究資金の導入件数 22件 （達成率183.3%）

【評定説明】

(1) 優れた点・特色ある点

○収入増加に係る取組として、外部研究資金の採択又は審査員を務めた経験を有する教員が講師となり、若手教員等向け研修会を開催するなど、外部資金の新規獲得に向けた取組を強化している。

(2) 更なる充実が期待される点

(3) 改善すべき点

(4) 法人の自己評価と異なる点とその理由（異なる場合のみ記載）

なし

《中期計画》

第4 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置

	項目数	自己評価 S 個数	自己評価 A 個数	自己評価 B 個数	自己評価 C 個数	自己評価 D 個数	評定
1 自ら行う点検及び評価の充実に関する目標を達成するための措置	1			1			3
2 情報公開の推進等に関する目標を達成するための措置	1		1				2

◆数値目標 ※上記評価項目に含む	達成／進捗状況
2 情報公開の推進等に関する目標を達成するための措置 【数値目標①】大学のホームページ等のアクセス数の維持向上 最終年度 140,200件/年 R3年度 120,900/年	ホームページ等のアクセス数 140,705件 (進捗率100.4%) (達成率116.4%)

【評定説明】

(1) 優れた点・特色ある点

○ホームページやSNSを活用し、演奏会、学生の受賞情報、教員の活動、研究成果、卒業生の活躍など幅広い内容について積極的に情報発信を行っており、数値目標として掲げた「大学のホームページ等のアクセス数」は年度計画を大きく上回る結果を出している。

(2) 更なる充実が期待される点

(3) 改善すべき点

(4) 法人の自己評価と異なる点とその理由（異なる場合のみ記載）

なし

《中期計画》

第5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

	項目数	自己評価 S 個数	自己評価 A 個数	自己評価 B 個数	自己評価 C 個数	自己評価 D 個数	評定
1 施設設備の整備及び活用等に関する目標を達成するための措置	1			1			3
2 安全管理等に関する目標を達成するための措置	2			2			3
3 法令遵守及び人権の尊重に関する目標を達成するための措置	1			1			3

【評定説明】

(1) 優れた点・特色ある点

(2) 更なる充実が期待される点

(3) 改善すべき点

(4) 法人の自己評価と異なる点とその理由（異なる場合のみ記載）
なし